



モータースポーツの灯を守りたい

世羅グリーンパーク弘楽園 会長 門田 弘三さん

2年前の4月、前経営者からこの弘楽園の経営を再び引き継いだ。「この世羅の地からモータースポーツの灯を消したくない」の一心で、ゼロからのスタート。地域の人からも「弘楽園は無くさないで」と励まされた。振り返ると、30数年前トライアルの実技研修の会場に提供したとき、急な斜面をスルスルと登ったり直角な石の壁を越えるバイクに興味を湧き感動した。

それから、当時山林だった山肌を少しずつ造成。バイクが走れるようダートコースに造りあげた。野球場だったグラウンドもカートコースに変えた。

以後、本格的なモトクロス場にするため、全国の有名なコースを見学し研究を重ねた。

最初は、50ccのカブのレースを行い、しだいに本格的なモトクロスのレース場になっていった。当初は、一メーカーのみのレースであったが、次第に規模の拡大を図りながら、国内4メーカーのモトクロスのレースが開催されるようになったと、当時の苦労を話された。また、当時の

町の協力もあり、念願であった、全日本モトクロス大会を誘致し、現在に至っている。

しかし、現在の2輪事情は若者のバイク離れが進みモータースポーツの継続も困難な時代で、モトクロスも例外ではないが、若者や幼少の頃から少しでもモーターサイクルに親しんでもらうのが使命と話された。

この弘楽園は、国内でもコース・駐車場・洗車場・トイレ・空きスペースなど、関連施設が整っている数少ない施設。意外と知られてないが、魅力ある町の施設の一つとしてアピールしたい。

福田義人



ラムソン・ジャンプを跳ぶ選手

表紙紹介



5月13日セラグリーパーク弘楽園で全日本モトクロス大会が、

編集後記

5月に行った議会報告意見交換会は、昨年の131人より多い175人の参加を頂き、貴重なご意見をありがとうございました。

6月定例議会は、①予算執行に伴う不適正な事務処理の報告に始まり処分に関する一連の調査。更に町幹部の処分に関する条例が否決されたこと。②次期選挙における議員定数の削減の陳情審査は、議会改革調査特別委員会では不採択す

全国から約7500人の参加を得て開催されました。この全日本モトクロスは北海道から九州熊本にかけて8つのレース場で10戦が戦われ、その大会の2戦がここ弘楽園で開催されるものです。

表紙の写真は国内モトクロス最高のIA-1のスタート第1コーナーに突入するシーンで、縦横数十センチの間を縫って先を競う選手の手際の緊迫感が伝われば。

べきとされたものが本会議では採択され、定数2減の条例が発議で可決されたこと。③議長の辞職に伴う議会構成が再編された。議会は苦渋の選択と厳しい判断を強いられています。

これからの「議会だより」を通して議会活動を速やかに正しく伝え、ご理解をしていただくことを期待し、親しみやすい「議会だより」を目指し努力をしてまいります。

仙光保喜

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は9月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

委員長／福田 義人
副委員長／松本 秀治
委員／西田美喜男・岡田 武士
福田 豪・仙光 保喜

議会広報広聴
調査特別委員会

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。
年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。